

進めよう！ 防災安心まちづくり運動



防災安心まちづくり運動とは

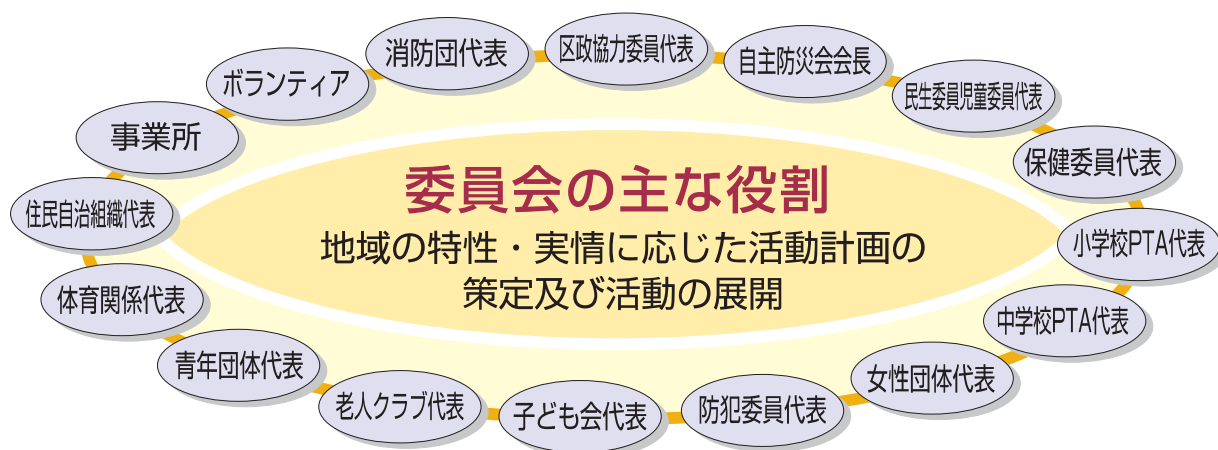
地震などの大規模災害に備えて、市民一人ひとりが地域で連帯感を持って「自分達のまちは自分達で守る」ことができるよう、防火防災意識の啓発や自主防災訓練など地域の災害対応力の向上を図る活動に、地域ぐるみで取り組んでいただくことを、名古屋市では『防災安心まちづくり運動』と呼んでいます。

(安心・安全で快適なまちづくりなごや条例)

運動を推進する地域の組織は？

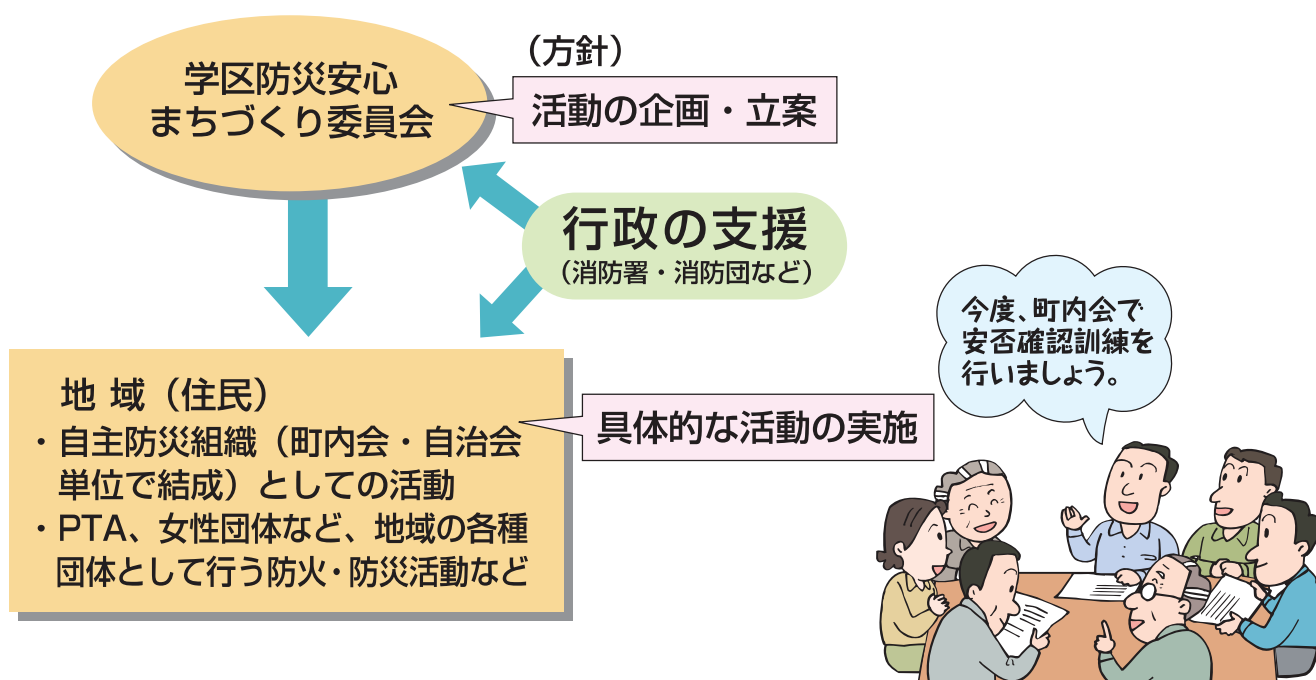
「学区防災安心まちづくり委員会」が運動の中心となる組織です。この委員会は、平常時に地域の特性・実情に応じた防火・防災活動を地域全体で行うために、活動内容や方針などを企画・立案・調整するリーダー的な組織で、小学校区ごとに、地域の各種団体の代表者などで組織されています。

【学区防災安心まちづくり委員会の構成例】



防火・防災活動の実施までの流れは？

一般的には、行政と連携を取りながら、学区防災安心まちづくり委員会を中心として、地域ぐるみで主体的に防火・防災に関する活動を行います。



どのような活動を行うのですか？

防災安心まちづくり運動は、地域の方々が行う防火・防災に関する全ての取り組みを対象としています。主な活動の事例は以下のとおりです。各々の地域の実情にあった取り組みを選択し、行ってください。

個人・家庭でできる対策

- 1 家具等の転倒防止対策の推進
- 2 住宅の耐震対策・家庭における危険箇所の把握
- 3 家庭内備蓄・非常持出品の準備
- 4 家族防災会議の実施
(集合場所・避難場所・連絡方法等)



地域と事業所との支援協力体制づくり

- 1 災害発生時の敷地の提供や資器材の供与などに関する覚書の締結
- 2 自主防災組織との合同防災訓練の実施



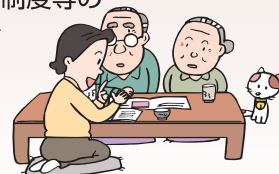
自主防災活動

- 1 安否確認訓練
- 2 現地本部運営訓練
- 3 初期消火訓練
- 4 救出救護訓練
- 5 避難誘導訓練
- 6 防災計画・マップ等の作成
- 7 防災学習会
(勉強会・講習会)



高齢者への支援

- 1 高齢者への防災知識の普及啓発
- 2 住宅用防災機器等の普及促進
- 3 防災製品の普及促進
- 4 消防あんしん情報登録制度等の高齢者対策事業の紹介



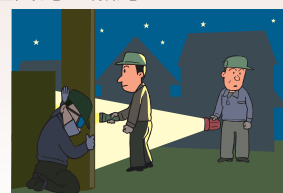
防火防災意識の普及啓発

- 1 春・秋の火災予防運動
- 2 防災の日・防災週間
- 3 防火防災キャンペーン
- 4 文化財愛護運動



放火されない環境づくり

- 1 チラシ等を活用した広報活動
- 2 まち歩きによる巡回広報活動
- 3 「一声かけ運動」や屋外灯の点灯
- 4 連続放火発生時の対応



地区防災カルテの話し合い

- 1 地域の災害危険箇所の把握
- 2 防災施設等のまち歩き点検
- 3 話し合いによる認識共有



各種行事への参加

- 1 防火防災イベント
- 2 各区総合防災訓練
- 3 避難所運営訓練

防火防災情報の提供

- 1 火災発生状況・原因及び予防方法
- 2 防火防災に関する知識・技術
- 3 地震等の各種災害への備えや対応要領

地域と事業所の支援協力体制

地震や台風などの大規模な災害時に大きな力を発揮するのが、事業所が所有している様々な資器材や敷地、人的協力などです。

現在、市内では「防災安心まちづくり運動」の一環として、事業所と地域双方の合意により、大規模な災害時の支援協力についての覚書の締結や、地域と事業所の合同の防災訓練などが行われています。

支援協力に際しては、新たに資器材等を準備する必要はありません。事業主の皆様が現在所有している資器材や敷地などで地域に協力できることがあれば是非ご検討いただき、地域貢献の一つとして取り組んでいただければ幸いです。

【支援事例】



水害時に立体駐車場を一時的な避難場所として提供



震災時の救出機材としてジャッキ、バールを提供



避難場所での給食用コンロとして七輪、炭を提供



震災時の救出機材としてフォークリフトを提供

「地域防災協力事業所表示制度」について

地域防災協力



(株)□□□□□



〇〇学区防災安心まちづくり委員会

防災安心まちづくり NAGOYA
令和 年 月 日 交付



寸法:たて26.4cm×よこ18.6cm(JIS-B5サイズ程度)

災害時の地域への支援協力についての覚書などを書面により地域と締結していただいた事業主の皆様に対して、地域の防災に関して地域貢献をしていることを示す「地域防災協力事業所表示証」を交付します。

(表示証の交付については、各事業主の皆様から管轄の消防署長へ申請していただく必要があります。)

※  マークは地域で結成されている自主防災組織のヘルメットや旗などに使われているもので、大規模な災害が発生した時には地域で協力し合って「自分達のまちは、自分達で守る」という意味で、昭和56年から名古屋市で使用している伝統のあるマークです。

(お問い合わせ先：各消防署総務課)